

年頭所感

秋田県中小企業団体中央会

会長 塩田 謙三



平成25年の年頭に当たり、会員組合及び組合員企業の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃から、本会の事業運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は歴史的な円高や長引くデフレ、原発再稼働等に絡む電力・エネルギー問題等に加え、領土問題を巡る中国や韓国等との軋轢など政治・経済ともに先行きの見えない不安定な状況でした。こうした状況を反映するように年末の総選挙は、12政党の乱立となりましたが、民主党から自民党への政権交代が実現しました。この数年の不安定な政局から脱出し、中小企業が活躍できる政策をこれまで以上に充実させ、1日も早い日本経済の再生に期待します。

本県経済も不況の影は色濃く、電子産業関連の工場閉鎖や人口減少などが話題になっていますが、今後に向けてはJRデスティネーション・キャンペーンや国民文化祭など期待が高まるイベントが多く控えています。

デフレ脱却に向けて、ようやく効果的な経済対策を構築する動きが見えてきましたが、この3月には中小企業金融円滑化法の期限切れが迫っており、借り手側に大きな影響が出ないように引き続き切れ目のない金融対策を県にお願いしております。また、雇用対策についても昨年10月から追加実施された緊急雇用対策を契機に、より安定した雇用につながるよう本会としても各業界に働きかけていくつもりです。

本会では、活動ビジョンの基本理念として「強い組合 強い企業づくり」を掲げていますが、その実現のためには、時代・環境の変化やニーズを素早く察知し、迅速に行動することが求められており、会員組合の皆様からの声を吸い上げるため巡回訪問等もさらに強化していく所存です。また、専門性の高い支援事業を実現するために昨年制定された中小企業経営力強化支援法の認定機関として、多様化・複雑化する経営課題に対応して参ります。

一昨年3月の東日本大震災では未曾有の被害が発生し、復旧支援等に奮闘する中小企業組合の姿が話題になりましたが、私自身もこうした社会的貢献活動の必要性を強く感じております。既に自社では数年前から取り組んでいますが、平成24年度からは中央会においても、清掃活動やプルタブ収集などの活動をスタートさせております。

今年の干支である「巳(み)」は、草木の生長が極限に達して、次の生命が作られ始める時期と言われ、「起こる、始まる」などの意味があるそうです。

これからも、行動を起こす中央会としてトライ・チャレンジしていく所存でございます。

みんなで力を合わせて、希望の持てる明るい秋田をつくりましょう。

皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

年頭所感

秋田県知事

佐竹 敬久



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、これまで取り組まれてきた連携組織化対策事業や首都圏での市場開拓・販路拡大を支援する「首都圏攻略プロデュース事業」、高齢者を対象とした新たなビジネスモデル構築を目指す「高齢者対応ビジネス構築事業」に加え、新たに農商工連携に向けた実践研修及び人的ネットワーク構築を行う「農商工連携実践スクール事業」の実施など、様々な中小企業支援事業に取り組まれ、県経済活性化の重要な担い手として、県民から大いに注目された1年でありました。

今年も、中小企業のネットワークプランナーとして、本県産業の発展と地域経済の活性化のため、先導的な役割を果たしていただくよう期待しております。

さて、国内経済は、世界的な景気の減速等を背景に、個人消費や設備投資等の動きが落ち込んでおり、先行きについて不透明感が高まっています。

本県経済においても、総じて円高や海外需要の減少などの影響を受けているほか、雇用面においても製造業の拠点再編等の影響が現れてきており、依然として厳しい状況が続いております。

県としましては、こうした現状を踏まえ、公共事業の追加や離職者の就労支援などの緊急的な経済・雇用対策を実施するとともに、引き続き新エネルギーの導入促進や関連産業の創出・育成をはじめ、新たなリーディング産業の育成、空港・港湾・高速道路などのインフラ整備による物流機能の強化といった秋田の成長に必要な施策についても、全力で取り組み、県内経済の活性化と雇用の維持・創出を図ってまいります。

また、今年10月から本県が対象エリアとなって、国内最大規模の観光キャンペーンである「デスティネーションキャンペーン」が実施されます。同キャンペーンのキャッチコピーである「あきたにしました。」と皆様に言っていただけるよう、精一杯の「おもてなし」の心で、キャンペーンを展開してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

秋田県中小企業団体中央会におかれましては、秋田に力強い産業を根付かせ、足腰の強い経済基盤を形成することができるよう、今後とも「強い組合・強い企業づくり」を基本理念に、組合や事業者へのきめ細かな経営支援サービスにご尽力されますことを期待いたします。

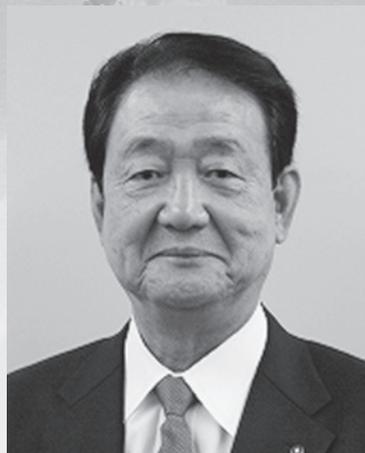
結びに、会員組合並びに組合員企業の皆様の益々のご活躍と、秋田県中小企業団体中央会の更なる飛躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭に当たって

～「組合絆ルネサンス」の結実に向けて～

全国中小企業団体中央会

会長 鶴田 欣也



明けましておめでとうございます。

震災からの復興や成長分野への産業構造の転換が喫緊の課題となる中、我が国は昨年もデフレからの脱却を果たすことができず、日本経済は大きな岐路に立っています。今年こそ、国の礎である中小企業が報われ、希望の光が燦々と差し込む年としたいものです。

顧みますと、全国中央会の会長に就任して4度目のお正月を迎えることとなりました。最も力を注いできたことは、大きく二つあります。一つは、①中央会の存在価値をアピールすること、もう一つは、②中央会・組合間の情報の共有化を図り、中央会の職員一人一人が生き生きと働けるようにすることです。中央会トップセミナー、中央会事務局長会議の開催、参加型の中央会指導員研修など中央会間の情報の共有化を図るため、各層ごとに幾重にも直接語らう場を設けましたが、今後とも、関係各位の積極的な参画をお願いいたします。全国中央会としても、それをしっかりと受けとめていきます。

「組合絆ルネサンス」の結実に向けて

衆議院解散による予算編成の遅れ等による景気減速、中小企業金融円滑化法の期限到来による資金繰りや消費税の引上げに対する不安、エネルギーの安定供給への危惧など先行きが見えない状況を何としても打開していく必要があります。

新政権には、一日も早く中小企業が再び元気を出して頑張れるような政策展開を何よりも期待するものです。そして、全国の中小企業がどの地域においても組合等連携対策をはじめとする政策支援が受けられるようきめ細かな支援体制が採られることが必要不可欠です。

このような状況下、政府では、小規模企業施策や支援体制を抜本的に強化し、海外展開の更なる支援、下請取引の適正化、事業承継・技能承継、若手・女性層の創業等を推進することとしています。このことは、中小企業組合等中小企業団体が果たすべき役割を高めるものと考えています。

東日本大震災は、中小企業間での復興連携、今後に備えての防災連携など地域市民を巻き込んだ新たな関係性による産業再構築の契機となったのではないのでしょうか。中央会として、絆と共感の中に、そのための仕組み、風土をつくり、日本の未来の可能生を作り出していきたいものです。

この歴史的転換と言える今、中小企業組合等中小企業団体の皆様におかれましても、中小企業の発展のため共に力強く前へと邁進いただきますようお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって、忘れられない素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭に当たってのご挨拶といたします。

平成二十五年 元旦

年頭所感

株式会社 商工組合中央金庫

秋田支店長 辻 憲 一



平成25年の新春を迎えるにあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに年頭のご挨拶を申し上げます。

まず、去年の経済を振り返りますと、わが国の景気は東日本大震災からの復興や、タイの洪水からの挽回生産、エコカー補助金の復活などにより、春頃まで持ち直しの動きを見せました。しかしながら、その後は欧州や中国経済の減速、長引く円高などによる輸出の減少に加えて、エコカー補助金の終了といった政策による押し上げ効果の剥落といった要因等により、国内景気は厳しい状況にあり、先行きの不透明感も強くなっています。

このような環境のもと、商工中金は、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、円高等の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組みました。平成23年5月より取扱いを開始した東日本大震災復興特別貸付については、3万5千件、1兆9千億円を超え、これらを合わせた危機対応業務全体の累計実績は制度開始以降、12万2千件、7兆5千億円を超える規模となりました。こうした、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に大きく貢献することができました。また、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けては、成長戦略総合支援プログラムを活用するなど、全力でサポートしてまいりました。

本年も先行き不透明な金融・経済環境が続くことが予想されますが、商工中金としましては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、お取引先の皆さまが抱える経営課題に対してはその解決に向け、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまと一緒にこの難しい局面を克服し、ともに成長してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜わりますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。